

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	なんば駅周辺地区都市再生整備計画（その2）												
計画の期間	令和05年度～令和06年度（2年間）												
交付対象	大阪市												
計画の目標	エリアマネジメントによる車中心から人中心への空間再編・観光拠点化の推進 目標1：車中心から人中心の空間再編による歩行環境の改善・魅力ある都市空間の創出 目標2：公民連携によるミナミの地域特性を活かした観光魅力の向上												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,796	A	1,796	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28年度)	中間目標値	最終目標値 (R6年度)
1	駅前空間におけるイベント開催数を0回（H29年度）から12回（R6年度）に増加する 駅前空間におけるイベント開催数	0回/年	回/年	12回/年
2	観光案内所（難波観光案内所）の利用者数を132千人（H28年度）から134千人（R6年度）に増加する 観光案内所の利用者数（難波観光案内所におけるカウント）	132千人/年	千人/年	134千人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大阪市において評価を実施

事後評価の実施時期

令和8年4月

公表の方法

本市Webページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

多くのイベントが開催されるとともに、観光案内所の利用者数が増加した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	イベント開催数	
	最終目標値	12回/年
	最終実績値	36回/年
2	案内所の利用者数	
	最終目標値	134千人/年
	最終実績値	160千人/年